

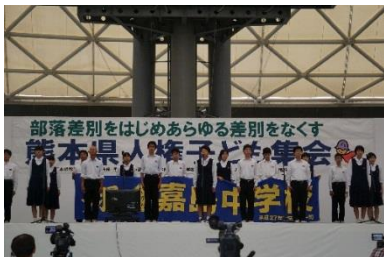
進取果敢

12月1日発行
文責：生徒会執行部

熊本県人権子ども集会

10月14日（土）にパークドームにおいて熊本人権子ども集会が開催されました。この集会は、児童生徒を主体とした集会活動で、司会進行も中高生が行います。今年も約8000人が参加し、いじめや差別のない社会にするためどうしたらよいかを考えていきました。嘉島中学生徒会執行部と常任委員長が「熊本地震をとおして感じたこと、学んだこと」を発表しました。8000人というたくさんの方の前での発表ということで、とても緊張していましたが、堂々と発表することができました。集会の最後に、「差別やいじめをなくすとともに、勇気と元気を与えていこう」というアピールを採択しました。

この人権子ども集会で学んだことを、12月13日に行われる人権集会でも伝えていきたいと思います。



【人権子ども集会に参加しての生徒感想】

高校生の方の発表を聞いて、本当にいじめが行われているんだと知りました。「いじめは殺人である」という言葉はまさしくその通りだなと思いました。自分はいじめは自分と遠いところにあるものだと思っていました。でも、身近なところにあるものだし、自分の何気ない一言で、相手を傷つけているんだと知りました。だから自分の言動に責任をもたなければいけません。熊本県内、いろいろな場所で人権について考えているのだなと思いました。今回の集会は自分が変わるいいチャンスでした。

考えたことは、「命の大切さ。相手の気持ちを考えて行動。」です。言葉が発するとき、相手の気持ちを考えて発言し、相手を傷つくことを言ったら、それからどんどんひどくなっていく一方だし、言った方も言われた方もどちらも心がもやもやして、いい気持ちにはならないからです。そして、命の大切さについてです。命は一つしかありません。だから、自分の命は自分で守ります。親からもらった大切なものなので、感謝し、大切に生きようと思います。いじめでつらい思いをする人が一人でも減るよう、自分にできることを考え、実行していきたいです。